

会議録様式

審 議 会 名	令和 6 年度第 4 回杉戸町総合振興審議会
開 催 日 時	令和 7 年 3 月 1 7 日（月）午後 1 時 3 0 分～午後 3 時 5 分
開 催 場 所	杉戸町役場第一庁舎 3 階会議室
会 議 の 議 題	第 6 次杉戸町総合振興計画後期基本計画策定について ・ 策定方針・体制・経過 ・ 町民意識調査（アンケート・ワークショップ） ・ 前期基本計画成果分析（成果指標等） ・ 後期基本計画施策体系の見直し ・ 意見等の後期基本計画素案への反映 ・ 今後のスケジュール
公開・非公開の別	☒ 公開 ・ ☐ 非公開 （公開の場合傍聴者数 0 人）
	（非公開の場合理由）
出 席 委 員 氏 名	【出席委員】 木村三樹男、松村美知子、板橋昇、宮野尾政子、横井正樹、谷藤恵美、水野順子、中里圭介、佐々木誠、菊地信一（会長）、青木恵理、新井晃、茂利浩幸、斉藤智章 【欠席委員】 鈴木豊
審 議 の 概 要	
上記の議題について審議を行った。 詳細は別紙のとおり。	

審議概要

1 議事「第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画策定について」

■事務局より、レジュメ3頁から37頁までを説明。

事務局説明概要

①策定方針・体制・経過

令和8年度から始まる後期基本計画を策定する。4月から5月に町民アンケート、4分野におけるワークショップを実施した。

②町民意識調査（アンケート・ワークショップ）

アンケート調査では、町の住み心地、愛着度、定住意向、施策の重要度と満足度からみるニーズ度について説明を実施した。（11頁から19頁参照）

町民ワークショップでは、杉戸町の強み・弱み、現状と未来像とのギャップ、未来像実現に向けて取り組むことや自分たちでできることをテーマに話し合った。（20頁から26頁）各意見は、計画策定の庁内会議である作業部会等に共有して、策定の参考にする。

③前期基本計画成果分析（成果指標等）

各未来像の令和5年度末時点で成果指標の達成状況について説明を実施する。未来像1は70%、未来像2は60%、未来像3は22.2%、未来像4は達成なし、未来像5は40%、未来像6は60%、未来像7は10%、未来像8は25%となっている。未来像ごとに大きな開きがある状況である。

レジュメ37頁までについて質疑応答

（佐々木委員）

レジュメ7頁にこれまでの経過の説明があったが、第3回会議の議事録は委員へ共有されているのか。

もう1点は、ホームページに審議会の議事録は掲載されているのか。今ホームページを見ているが、議事録を見つけることができなかった。

(事務局)

総合政策課の総合振興審議会のページがありまして、そこに公開しております。(委員のパソコンにて場所を説明)

議事録は、署名される委員以外には、送付しておりません。

(新井委員)

資料の構成や表現がすごくよくできている。また、ニーズを数値化している点もよい。この資料を作っている方はどなたなのか。

(事務局)

アンケートについては、毎回比較できるように作成している歴代担当者の努力の賜物であると考えている。

また資料は今回の策定を支援していただいている委託業者と事務局で意見交換をしながら作成している。

ニーズ度は、一つの物差しとして、お示しできると考え、みんなで作成したものである。

■事務局よりレジュメ38頁以降の説明を再開。

事務局説明概要

④「後期基本計画施策体系の見直し」について説明。

- ・施策4「多様なメディアを活用した子育て関連情報の発信」を削除
子育て情報だけではなく、すべての事業の情報発信に適用するために削除するとともに、各WSにおいても情報発信の重要性が取り上げられたことを考慮し、「計画策定にあたって大切にしたこと」に記述する。
- ・施策12「人権と多様性の尊重」を未来像8から移動
- ・施策13「国内外交流・多文化共生の推進」を未来像8から移動
未来像8を行政改革大綱と統合することに伴い移動する。
- ・施策32「環境保全の充実」は、前期の施策31「豊かな自然の保持と継承」と施策32「地球温暖化対策の推進」を事業の方向性が共通している

等の背景から統合。

- ・未来像 8 は行政改革大綱と統合することに伴い、内容を整理。

⑤意見等の後期基本計画素案への反映

- ・後期基本計画の 5 年間で、「優先的かつ重点的」に取り組むべき課題を明確化し、選択と集中により施策を展開していきたい。
- ・町民アンケートや前期基本計画の成果指標の達成状況から、未来像の町民ニーズが高いものや、未来像の達成が遅れているものを提示。(レジュメ 48 から 49 頁)
- ・委員の皆さんが考える「優先的かつ重点的」課題や施策の意見を伺いたい。
- ・主要施策ページの見やすさ、わかりやすさを意識した構成。
- ・資料 1 の素案について未来像ごとに課題等を説明。

⑥今後のスケジュール（審議会に関係するもの）

- 6 月中旬に令和 7 年度第 1 回の審議会：修正した素案の提示
- 7 月中旬に第 2 回審議会：素案の確定
- 8 月中旬から 9 月にパブリックコメントを実施
- 8 月下旬に第 3 回審議会：計画原案の答申案の作成
- 9 月下旬に第 4 回審議会：計画原案の答申

レジュメ 38 頁以降について質疑応答

(佐々木委員)

先ほどからレジュメと言っている資料だが、資料名が入っていないので、後日確認する際にわからないので、資料名を明記して欲しい。

(事務局)

承知した。今後は資料名を表記する。

(板橋委員)

後期基本計画書は、最終的に、町民が目にする際に、どんな形で明示していくのか。冊子等で配布されるのか。それとも、ホームページ上でデータにて配布されるのか。形式を教えて欲しい。

(事務局)

計画書は最終的に冊子となる。また、ホームページでも公開するので、データでも公開する。委員の皆様方には、冊子でお渡しする。

(板橋委員)

そうであれば、よりわかりやすさを考えた時に、今の文章には、様々なところに二次元コードが付いており、読み込めば該当ページを見ることができるなど、学校の教科書でもそういうふうになってきている。

そのため、冊子を手にした際に、関連する計画として記載されている計画名の脇に二次元コードが付き、スマホでコードを読み取ることで、その計画を読めるといったようなわかりやすさや利便性を求めて、最終報告になるとよいのではないかと思う。

また、様々な町の役職をやっている方や町に詳しい方は、この計画を見てわかると思うが、一般の町民の方が初めて見たとき、文章やカラーで見やすさを追求するのはとてもいいと思うが、読み物として大切なことはイラストや空間、そしてこの項目は1頁を費やすなど、そういった見やすさの追求をこれから先、一般の町民のために、わかりやすさの追求も加えていただけるとありがたい。

(宮野尾委員)

資料1の素案の43頁に、改善が求められる取り組みに、「売却など削減していく必要量を削減できるように工夫することが必要。」と書いてあるが、この意味は、売却を早く行って、町の手間を省こうという意味でしょうか。

(事務局)

この部分は誤字になる。

ここは町が持っている土地について、現状では全く利用していないものがたくさんある中で、所有しているだけで、維持管理に係る費用がかかるので、売却などを検討していかなければならないという意味合いになる。文章は修正する。

(佐々木委員)

レジュメ40頁の表に、前期にあった「施策4 子育て関連情報の発信」について、情報発信は子育てだけではなく、他の分野でも重要であり、すべての分野に変更するという説明であったが、その点はどこに記載されるのか。

(事務局)

資料1の素案53頁に「計画策定にあたって大切にしたこと」というページを設けて、そこに掲載している。

(佐々木委員)

その部分にも記載するし、またどこか別の施策にも移動するという説明だと思ったが、施策自体が消えるということでよいのか。

(事務局)

施策としては、削除している。施策全体を網羅する形で、53頁に掲載することになっている。

(佐々木委員)

これは解釈の仕方によると思うが、やはり情報発信はすごく重要なものであ

る。また、子育て施策も特に重要であり、子育て世代は情報の活用度が高いので、施策として消さない方がいいと思う。

他の施策に移るならそれでもよいが、素案の記載方法である全体を網羅するのだから当然すべての施策で考えるという発想も理解できるが、やはり施策としてきちんと明確にしておいた方が、行政としても取り組みやすいのではないかと思うので、ご検討いただきたい。

(事務局)

今後検討する。

(佐々木委員)

レジュメ43頁、前期の施策31と施策32は、後期で施策32に統合しており、資料1では104頁になると思うが、元々が豊かな自然という自然環境と地球温暖化とCO2削減ということで、少しテーマは似ているが、内容は違うと思う。

それを1つの施策にまとめるのは、行政の取組みとしては、縮小したように見えてしまうのではないかと思うが、何か積極的な意味があって2つを統合したのか。

(事務局)

これについては、施策を精査するという意味で、今回2つを1つにした経緯がある。

ただ、実際に地球温暖化に関すること、また自然環境に関することが打ち消し合うのではなく、具体的な施策を定める実施計画上で具体的な項目を取り上げる予定である。

しかし、単純に1つ減ってしまうと思われてしまうことも懸念されるので、一旦検討したいと思う。

(佐々木委員)

積極的な意味が説明できれば良いと思うが、今の説明では曖昧な気がするの

で、今回はこのまま保留として次期計画のときに組み直すという方がいいと考える。

(佐々木委員)

レジュメ 50 頁のポイント④で、「杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を編入するということで、資料 1 では後ろのページに掲載するような形になっていて、どの政策がどう関連するかという構成になっているが、これは、わざわざ後ろに、4 頁から 5 頁の構成を設けなくても、後期基本計画の中に混ぜてしまってもよい気がするが、やはり何か項目として取っておく必要性があるのか。

あるいは私の印象では、前期もそうだが、後期基本計画も網羅的に書かれており、情報量が多すぎて、町民の視点からすると、重点がよくわからないという印象もある。もし総合戦略がこの計画の中でも特に重要であるとか、国の大きな方針と絡んでくるということであれば、ここが取り組むべき重点であるといったような発信もできるのではないかと考えるが、総合戦略の位置づけを明確にするなど、工夫すれば、後ろにまとめて章立てする意味があると思う。

(事務局)

総合戦略については、国の法律の基づき策定する必要があるので、今回作成するものである。

委員がおっしゃるように、結局後期基本計画の内容を再掲しており、同じ施策等が重なるため、後期基本計画内に混ぜ込む対応も検討したが、総合戦略について正直なところ職員でも十分理解していない人が多く、混ぜ込むと余計にわからなくなってしまうことを懸念している。そこで、総合振興計画と総合戦略の繋がりを意識してわかりやすくするために今回は、章立てにしているところである。

自治体によっては完全に総合振興計画の中に溶け込ませて、策定している場合もある。

(会長)

総合戦略は、この会議体の名称にもなっている。これについては発展的解消ということで、今回は最後に掲載するという位置づけになるかと思う。

(佐々木委員)

レジュメ 53 頁の施策指標と政策指標の件で、庁内の会議では分けることでわかりづらいという意見が出ており、今後どのように取り扱うか決定していないという説明だったが、私を感じたのは、この施策指標は自分たちでどれくらい達成したかという庁内の内部的な評価であり、これまでもよくあった評価の方法である。ただ、内部の評価だけでは毎回どうなのかと疑問を感じており、第三者の評価がないと、客観性に欠けると思っている。

そういう意味では、未来像の実現度合いを測る政策指標は、やりようによっては外部評価を継続的に取り入れるという意味で、意味がすごくある取り組みになりうると思うので、ぜひ進めていただきたい。どうやって行うのか、時間も人手もかかるかもしれないが、庁内評価ではあまり差がでないため、外部評価をもう少し増やしていく必要がある。

また、あるいはこの数値指標について、数値はわかりやすく評価できるが、数値に置き換えられない質的な評価というものもあると思うので、内部でも外部でも評価するように、すぐに全て変えることはできないと思うが、少しずつ取り入れて欲しいと思う。

(会長)

施策指標と政策指標は似ているので、他の表現は使えないか。検討して欲しい。

(茂利委員)

今回のテーマにもあるように、行政の効率化という部分も含めて様々な政策をしていると思うが、各未来像がある中でも、例えば子育てに関するものや、まちづくりに関するものなど、様々な専門的部署にわかれて担当している。

しかし、子育てやまちづくりに関しては、住民にしてみれば各課にまたがっ

ている部分が結構ある。

このテーマの絞り込み方という部分が専門的に課ごとに取り組むべきものは当然必要である中で、各課が横串で連携することにより情報共有されて、単独の課では不明なこともわかるようになり、住民にとってよりよい施策をとるので、そういった点も意識して見直して欲しい。

もう一点が、施策指標、政策指標の件で、例えば、未来像1で放課後児童クラブの待機児童数とかを保育所の待機児童数とあるが、これにプラスアルファで、放課後児童クラブに携わる人たち、保育園に携わる人たちから見て課題とされていることは何かということはこの項目に反映した方がよいと思う。見た目の待機児童数が多い少ないではなく、そこに携わる職員たちの負担を考えた上で、より良いサービスを提供するためには、携わる職員のニーズも関わってくるので、それぞれの未来像の中の関わる現場の人たちの考える課題や意見も参考にしながら、この項目の中に入れる必要もあると思う。

例えば、保育所や放課後児童クラブは現場の職員数が少なくて事故が起きてしまうといったことや、障がいに関する専門的知識を有する職員がおらず、うまく対応できないなどの問題を抱えているので、現場の意見を成果指標の項目に何かキーポイントになるようなものを落とし込むと、もう少し先に本当にプラスになるような数値が得られるのではないかと思う。